

広報



特集 秋祭前夜

これがホントの露天風呂!?

自然の中での集団生活を体験する「大江GO!GO!キャンプ2017」が、9月2日から3日にかけて朝日少年自然の家でおこなわれました。このキャンプには町内の小学5・6年生19人が参加し、木のスプーン作りやオリジナルカレー作りなどに挑戦。今年が初体験となる「ドラム缶風呂」では、子どもたちは恐る恐る足を入れながらも、自然の空気の中で仲間たちと入るお風呂を存分に楽しんでいました。



平成29年

9

No. 679

しゅうさいぜんや 秋祭前夜

時代を渡り続ける「奴」行列

町内各地域の伝統芸能が一堂に会し、大勢の人々の前で祭囃子や舞などを披露する「大江の秋まつり」。情緒豊かな民俗芸能は、重要な文化的景観として残る街並みと同様、長い歴史の中で先人たちが築き上げてきた左沢の文化の多彩さを象徴するものといえます。

今年3年ぶりのお披露目となる「左沢十三区奴」を中心に、大江の秋まつりの特色と魅力に迫っていきます。



「大江の秋まつり」関連年表															
平成					昭和			大正	明治	年代					
(平成21年) 2009年	(平成16年) 2004年	(平成10年) 1998年	(平成7年) 1995年	(平成6年) 1994年	(平成2年) 1990年	(昭和61年) 1986年	(昭和51年) 1976年	(昭和43年) 1968年	(昭和27年) 1952年		(昭和3年) 1928年	(大正4年) 1915年	(明治16年) 1883年		
秋まつりのパレード会場が中央通りからJR左沢駅前広場に変更される	秋まつり開催が「9月第3月曜日の前日」となる	御免町囃子屋台が復元される	御免町囃子座保存会が結成される	七区囃子屋台保存会が結成され、内町組(7区)囃子屋台を復元する	柏風会が八幡神社神輿を奉納する	柏風会が発足する	深沢獅子踊保存会が結成される	獅子舞保存会(後の三区獅子舞会)が結成される	十三区奴保存会が結成される	十三区奴が元天童藩の名家から奴道具を譲り受け、神明神社へ奉納する	十三区奴が初披露される	免町、8区の囃子座、左沢獅子舞が出る	昭和天皇即位の祝賀行事などの慶事に合わせ、八幡神社例大祭が盛大に催される。横町、内町、御免町の囃子座、原町などの山車が出る	大正天皇即位の祝賀行事に合わせ、八幡神社例大祭に横町、内町、御免町の囃子座、原町などの山車が出る	左沢八幡神社が現在地に移され、その例大祭が左沢の大祭りとなる

地域の祭りがひとつに

各地域や団体が特色ある芸能などを披露し、パレードをおこなっている秋まつり。今では町民の皆さんにも馴染みとなつている獅子舞、神輿、囃子屋台などの芸能ですが、元来はそれぞれの地区が別々のコースで町内を練り歩いていました。

これを町のお祭りとして、町内外のたくさんの方に見ていただくため、町観光協会の声かけにより各団体が1カ所集まる場を設けようと協議をおこない、中央通り商店街で実施されたのが、現在の秋まつりの始まりです。

パレードは、平成21年からJR左沢駅前広場に場を移して実施されています。毎年9月の秋まつり当日、駅前を中心に笛や太鼓の音色が醸すお祭り一色の空気に染まり、由緒ある伝統芸能を受け継いできた地域の皆さんが、時には勇壮に、時には雅に、それぞれの祭りの特色を余すところなく披露して、町は盛大に賑わっています。

長い歴史と文化の象徴

左沢はかつて最上川舟運の要所で

あったこともあり、人と物の活発な交流の中でさまざまな文化が流入しました。町内各地の個性的な伝統芸能には、その影響が多くみられます。左沢獅子舞は、楯山城主大江氏の時代に遡る長大な歴史を誇り、深沢の獅子踊りは仏教の影響を色濃く残す独特の舞となっています。

7区と御免町の囃子屋台は、舟運を通じて伝えられた京文化の流れをくむものですが、昭和期になるとお披露目の機会も激減し、長期にわたって休止されることとなりました。しかし平成に入ってから、7区、御免町の皆さんの熱意と努力により、囃子屋台が相次いで復活。お祭りにさらなる華やかさと壮麗さが加わりました。

近年新しく秋まつりに加わった出演団体もあり、幅広い世代に左沢の文化の奥深さをPRする祭りとして、多くの方々に親しまれるイベントとなっています。

祭りの起源は八幡神社

秋まつりは、平成16年から毎年9月第3日曜日に開かれています。それ以前は9月15日が開催日と決められていました。この日は左沢八幡

神社の例大祭の日と定められており、明治時代から左沢地域全体の大祭とされてきたこの祭礼こそが、秋まつりの起源であることを示しています。明治16年、左沢前田にあった八幡神社の社殿が、松山藩の米蔵跡地である現在の場所に移転され、その例大祭で左沢獅子舞が八幡神社神輿の先導を務めるようになります。

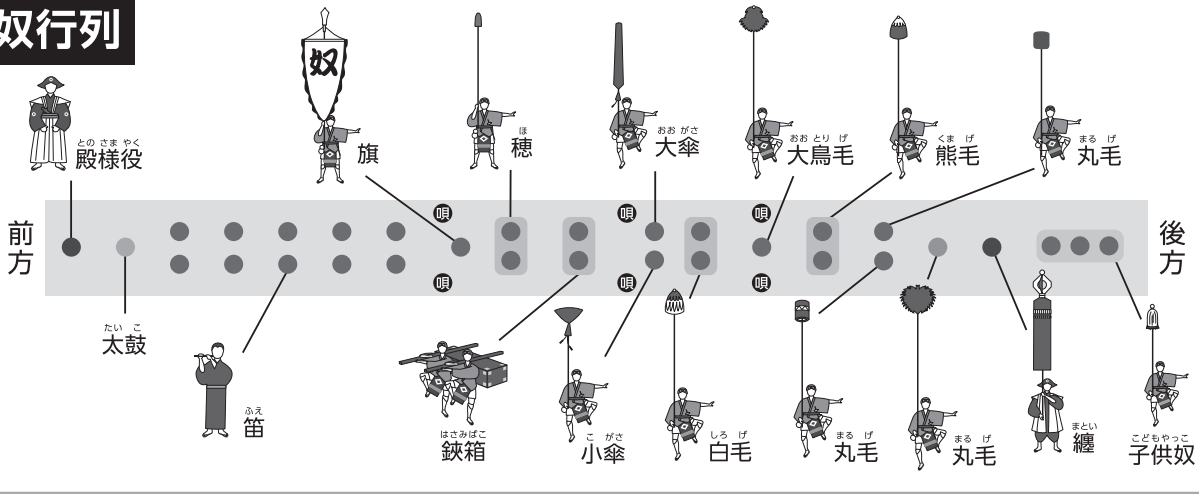
大正4年、大正天皇即位を記念する御大典祝賀行事に合わせ、八幡神社例大祭に横町組、内町組、御免町組の囃子座のほか、原町組などの山車、左沢獅子舞などが集結し、盛大なお祭りが催されました。各地区の祭典が集まる現在の秋まつりの源流が、すでにこの時代に見られるといえます。

求められた新しい芸能

昭和天皇即位記念の御大典祝賀行事がおこなわれた昭和3年は、左沢小学校の大改築落成記念式典など、町にとっても大きな祝いが重なった年でした。

この年も八幡神社例大祭が盛大に執りおこなわれることになり、明治から途絶えていた深沢地区の獅子舞がこれを機に再興されるなど、地域

奴行列



奴行列の見どころ

奴行列は、鮮やかな衣装を身につけ、化粧を施した演者たちが、踊りながら町中を練り歩くものです。殿様役を先頭に、太鼓、笛、唄が続き、その後に殿様の供回りである奴が、鉢箱や傘、槍などを手にして行列をなします。

行列の中心となるのは、一番長い槍を持って踊りや行進の指揮をとる「大鳥毛」。行進中に踊る「振奴」、槍を高く突き上げる「揚奴」、立ち止まって観客の前で披露する「舞奴」の3種類を、それぞれ唄に合わせて力強く踊ります。

まると山形
祭りだ！ ワッショイ！

左沢十三区奴が出演！

◆日時／9月30日(土)13時～18時
(14時パレード開始)

◆会場／国道112号 (山形メディアタワー角～栄玉堂角)

※パレード出演12団体中、左沢十三区奴は10番目に出演します。

の伝統芸能を振興しようとする機運が高まりました。

そうした中、古くから伝わる郷土芸能がなかった下小漆川地区では、左沢地域の祝賀ムードを盛り上げるため、地域民が新たな芸能を興して祭りに参加することになりました。

こうして始まったのが、「左沢十三区奴」です。

奴とは、江戸時代の武家の行列の中で、槍などを担いだ供回りの人々のことです。化粧などを施して奴に扮し、太鼓と笛の調べに乗って踊る奴振りには、民俗芸能として全国各地に残っています。

下小漆川は、江戸時代初期に左沢藩主となった酒井直次が小漆川城を築城し、武家屋敷が並ぶ城下町として発展した地域です。こうした歴史的背景を踏まえ、武家に仕えて行列の先導を務めた奴の舞こそが地域の芸能としてふさわしいとの思いから、今に続く奴踊りがつくられることになりました。

奴はいつして誕生した

昭和3年の左沢十三区奴創設の際に中心的な役割を担ったのは、「最上川舟唄」の編曲者として有名な郷

土民謡家・後藤岩太郎氏だといわれています。

新しい奴を生み出すにあたって参考とされたのは、現在の村山市湯野沢の奴行列。現地の方を招いて直接指導を受けたほか、秋田佐竹藩に伝わる「振奴」や、尾花沢の「舞奴」などを取り入れ、左沢十三区奴が誕生しました。

その後、奴はしばらくの間陽の目を見る機会に恵まれず、演じられなまま年月が過ぎていきました。しかし戦後になって白田佐氏を中心となり、地区内で奴の再演への意欲が盛り上がります。旧天童藩の名家からのぼり旗や鉢箱、長柄の槍などの奴道具を譲り受けたのもこの時期のことです。若者たちが大八車に奴道具を積んで運んできたという逸話が残っています。

そして昭和27年、左沢十三区奴は満を持して復活。これ以後、4年に一度、さらに後には3年に一度と、定期的に演じられるようになり、奴は13区の名物として定着していきま

進化し続ける奴の魅力

左沢十三区奴の行列は、笛、太鼓、

地域の宝物を
守り続けたい



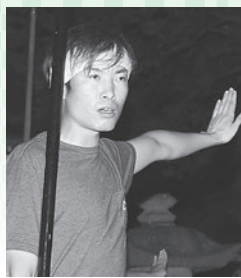
奴婦人部長
佐藤廣子さん(13区)

を存続できるのは地区民が総出で奴を盛り上げているからです。奴とともに、この地域の絆をいつまでも守っていききたいですね。

奴婦人部では衣装の着付けや化粧などの裏方を担当し、奴を支えています。お祭り当日は賄いとしておにぎり、おかず、漬物を用意し、地区内の一人暮らしの高齢者にも提供しています。

奴は地区民の宝物であり、親から子へ受け継いできた誇りある伝統です。近年は戸数も少なくなっていますが、それでも奴

奴伝統百年を
目指して



おおとりげ
「大鳥毛」担当
安孫子博司さん(13区)

奴に参加するのは今回5回目で、初めて「大鳥毛」を担当します。大鳥毛は一番長い槍で、風が吹くと大きくあおられるため、扱いが大変難しいです。また、掛け声も大鳥毛担当から始まるので、みんなのタイミングを合わせるためにも重要な役目です。

90年近い奴の歴史を私たちの手で今後も存続させ、まずは100周年記念として踊ることを目指して続けていきたいです。秋まつりでは他の団体に負けずに、華々しく演じきりたいですね。

他にはない
華やかさが魅力



十三区奴保存会会長
後藤恒雄さん(13区)

祖父である後藤岩太郎に始まり、父、そして私と、3代にわたって左沢十三区奴に関わってきました。奴の衣装は演じられるたびに色彩豊かになっていったといわれ、また「鳴り物」と呼ばれる笛や太鼓がつくのは他の奴にはあまり例がなく、13区の奴に特有の華麗さを際立たせています。

今年は山形市で開催される「祭りだ！ワッショイ！」に参加することになっており、地元の奴を多くの人々に知ってもらいたいと思っています。近年は地区民も減少して奴を維持していくのが大変なっていますが、ぜひ若い人たちの力でこの芸能を今後も担ってほしいです。

踊り手、世話人などを含めると総勢約60名にもなる大がかりなものです。演じられるたびにさまざまな工夫やアレンジが加えられ、徐々に変化を遂げていきました。河北町の「谷地奴」をはじめ、県内でも奴が演じられる地域はいくつかありますが、13区の奴はそのいずれとも異なった独特な芸能として根付くことになりました。たとえば、原型のひとつとなった湯野沢の奴は、勇壮で力強い動きが特色となっています。これに対して、左沢十三区奴の大きな特徴のひとつが華麗さです。江戸時代の奴を模した「まげ」と衣装を身につけ、化粧を施した踊り手たちが、笛と太鼓の音色に合わせて長い槍を振りながら息の合った踊りを展開する姿は、勇ましさとともに華やかな風格を醸し出します。

行列で最も目を引くのは、奴たちが垂直に立てて振る長い槍です。白毛、丸毛、熊毛など、槍の先の覆い飾りがそれぞれ異なるのが特徴で、中でも行列の中心となるのが、最も長い大鳥毛です。長さ約4メートルにもなる槍を持ちながら踊るのは非常に難しく、それだけにダイナミックな勇姿は行列の最大の見どころとなっています。

秋まつり当日に備え、13区の奴の演じ手は前月から稽古を開始し、週に約5回というペースで練習を重ねていきます。

祭りの当日、奴たちの衣装の着付けや化粧、賄いなどを担当するのは、地域の婦人会の皆さんです。素早く、かつ万全の準備をするために、婦人会も着付けの講習会などを開いて奴たちのサポートに力を尽くします。

昭和40年に「左沢十三区奴保存会」が発足し、昭和60年には13区内の小中学生による「子供奴」が創設されました。そして来年は、左沢十三区奴の誕生から90年目の節目の年を迎えます。子どもからベテランまで地域全体が一丸となって、地元根付いた伝統芸能を後世まで守り伝えていく意気込みに溢れています。

9月17日、今年も「大江の秋まつり」がやってきます。にぎやかな祭囃子、華麗な舞や踊りはもちろんのこと、それを支えているそれぞれの「地域のチカラ」にも想像を巡らせながら楽しんでみてはいかがでしょうか。

奴を受け継ぐ地域の力

1 ■新たな雇用の場確保に向け第一歩 ～藤田工業団地造成工事起工式～

今年度新たに町が整備する藤田工業団地の造成工事開始にあたり、起工式と安全祈願祭が9月1日におこなわれました。この工事は、人口減少緩和と定住促進のために若者の雇用の確保を目指し、工事費約1億9千万円を投じて実施されるものです。新たな工業団地は現在の藤田工業団地に隣接する土地に造成され、その面積は約1.8ヘクタールを予定しています。

式には、工事関係者や地元である藤田地区の関係者などが出席。渡邊町長らが鍬入れの儀式をおこない、玉串を捧げて工事の安全を祈りました。



2 ■あらゆる世代の活躍で安心安全なまちづくり ～交通安全町民大会～



▲カモンくん、シェイガーと一緒に交通安全マーチを踊る園児たち



▲交通安全母の会による反射材ファッションショー



▲街頭での呼びかけ活動について発表する左沢小学校6年生の児童

町民一人ひとりが交通安全を誓い、交通事故防止の意識高揚と飲酒運転の撲滅を図るための交通安全町民大会が、9月3日にふれあい会館で開催されました。この大会には、町の交通安全対策協議会などの関係者のほか、一般参加者など合わせて約400名が参加。町内のさまざまな団体の発表などを通して、安心安全なまちづくりへの誓いを新たにしました。

大会では、昨年に引き続き大江中学校吹奏楽部の生徒たちが、吹奏楽コンクールでの演奏曲など5曲を披露。さらに、吹奏楽部の伴奏に合わせて、山形県警察のマスコットキャラクター・カモンくん、町のご当地ヒーロー・シェイガーと一緒に、かもしかクラブの子どもたちが「交通安全マーチ」を踊り、来場者から大きな拍手が送られました。

町内の団体などによる交通安全活動発表の中では、左沢小学校6年生の児童が、役場前などの街頭でおこなったドライバーへの安全運転呼びかけ活動について、発表をおこないました。

大会終了後は「死亡ゼロ」に向けた「脂肪分ゼロ」の玉こんにゃくが交通安全母の会より振る舞われ、来場者は山形ならではの味を楽しんでいました。

議会

town council

第4回臨時会

平成29年第4回大江町議会臨時会が、8月3日に開かれました。平成29年度藤田工業団地造成工事について、落札した林建設株式会社と工事請負契約を締結することが可決されました。工事の完成期限は、12月15日となっています。

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

第38回東北中学校陸上競技大会
男子1年1500メートル 第1位

大江中学校1年
菊地道登さん(梨木原)



▲東北大会決勝でトップを快走する菊地さん

8月10日に青森県総合運動公園で開催された第38回東北中学校陸上競技大会に、大江中学校1年の菊地道登さんが出場し、1年男子1500メートルで見事優勝を果たしました。さらに、その後の選考会の結果、10月27日から開催される第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会への出場も決定しています。

きたという予選では堅実に決勝進出を決め、迎えた決勝では練習で強化してきたラストスパートの速さが光り、激しい先頭争いを制して1位でゴールしました。

これまで県内外のさまざまな大会に出場し、他県の同年代の強豪選手とも競い合ってきた菊地さん。そうした数々のライバルたちとの出会いが刺激となり、自分のレベルを高めていくことにつながったそうです。

現在、菊地さんは当面の目標であるジュニアオリンピックでの決勝進出に向け、早朝練習などのトレーニングに励んでいます。今までの駅伝大会などでの活躍からもうかがえるように、本来はより長い距離でのレースを得意としており、今後の大会では共通3000メートル、そしてさらなる長距離での活躍を目指しています。

「いつかフルマラソンでオリンピックに出場し、海外の選手たちと競い合って、世界から注目されるような選手になりたいです」と、将来の大きな目標を話してくれました。



大江中学校1年
笹川愛琉さん(蛸水)

第38回東北中学校陸上競技大会
女子1年100メートル 第6位

第38回東北中学校陸上競技大会で、女子1年100メートルに出場した笹川愛琉さんが6位入賞を果たしました。また、10月のジュニアオリンピックへの出場も決定しています。笹川さんは「県大会で優勝できなかった悔しさをバネに、今後の大会では上位入賞と12秒台のタイムを目指します」と意気込みを話していました。



山形中央高校1年
岡田悠さん(蛸水)

第29年度全国高等学校総合体育大会
女子400メートルリレー 第6位

7月28日から8月2日にかけて天童市で開催された南東北インターハイ陸上競技の女子400メートルリレーで、岡田悠さんが第1走者を務めた山形中央高校が6位に入賞しました。岡田さんは「3位以内を目指していたので悔しいですが、県高校記録更新は嬉しいです。10月の国体では個人種目の100メートルで入賞を目標に頑張ります」と話していました。



大江町のお盆は、特別な時期。薄暮の街並にともる行燈と提灯の柔らかな光が、今年も祭りの始まりを静かに、はつきりと教えてくれる。週末からさまざまな催しが連日開かれ、祭りの気分は日を追うごとに高まっていく。

8月15日夜。涼しい夜風がそよぐ中、御神火の篝火かがりびがともされ、灯ろう流し花火大会は始まった。夜空高く舞い上がり、次々と咲き乱れる4千発の大輪の花。ぐずついた空模様を打ち砕くように、その轟音は大気を貫き、見上げる9万人の胸を強く震わせた。その下で、川面を赤く染める灯ろうの明かりは、先祖の魂とともに人々の思いを乗せて、静かに、夏に別れを告げるように流れていった。

水郷大江夏まつり 8月10日～16日

①葛沢区出身のジャズボーカリスト・菅原恵衣さんのコンサートが11日に開かれ、会場のふれあい会館は満員のお客さんで盛り上がりました ②14日、小倉交流館で「魚つかみどり大会」開催。活きのいい魚をゲット！ ③15日、原町露店市の様子 ④15日、故人への思いを込めた灯ろう流し ⑤左沢小学校6年生の児童たちが、手作りのパンフレットを左沢駅前で配布し、本町の魅力をPR ⑥15日、灯ろう流し花火大会開会式であいさつする渡邊町長と吉村県知事 ⑦商工会青年部により朝日嶽神社から採火された御神火が、花火大会本部前に点火されました ⑧13日、JAアグリ大江店前で開かれた朝市 ⑨14日に中央通り商店街で開かれたふるさと盆まつりの様子 ⑩15日、最上川での水難者を慰霊する川供養





9万人の胸に
残響を轟かせて

8/6 地元開催で訓練の成果を披露!

消防団員の操法技術の向上と士気高揚を図る西村山支部消防操法大会が、8月6日に中央公民館で実施されました。地元開催となった今年、本町からは第1分団第1部と第2分団第5部が出場。多くの地元の皆さんの応援を受けて、選手たちは約2カ月にわたって積み重ねてきた訓練の成果を発揮し、両チームとも優良賞に輝きました。

出場者

第1分団第1部

指揮者 金山 暁 (3区)
 1番員 松田 佳祐 (1区)
 2番員 伊藤 健 (5区)
 3番員 清野 光 (3区)
 補欠 鴨田 圭太 (1区)
 補欠 渡辺 智彦 (3区)

第2分団第5部

指揮者 菊地 良平 (深沢)
 1番員 菊地 勇人 (深沢)
 2番員 鈴木 貴之 (深沢)
 3番員 菊地 育心 (深沢)
 補欠 鈴木 高成 (深沢)
 補欠 菊地 和哉 (深沢)



▲優良賞・第1分団第1部



▲優良賞・第2分団第5部



8/18 ネズミ退治に強い味方を呼ぶ

町内の若手リンゴ農家を中心とするリンゴ研究会が、8月18日に営農センターでフクロウの巣箱作りをおこないました。この取り組みは、ネズミによる害を減らすため、天敵のフクロウの巣作りを促そうと初めて実施されたものです。

メンバーは切った木材を手際よく組み立て、この日20個の巣箱を製作。完成した巣箱は、各農家のリンゴ畑に設置される予定です。リンゴ研究会の公平友和さん(小漆川)は「設置してみないと効果は分かりませんが、1つでも多く巣を作ってくれたら良いですね」と期待を寄せていました。



8/26 せめぎ合う闘志と団結力!

大江中学校の体育行事「躍動祭」が、8月26日に開かれました。現在の名称になって2回目の開催となった今年は、「^{やく}躍～熱くもえる 誠意を胸に～」をスローガンに、全校生徒が赤軍・白軍に分かれてさまざまな競技に挑戦。騎馬戦、綱引き、リレーなど、どの競技でも気迫とチームワークを発揮し、正々堂々の勝負を繰り広げました。

応援合戦では、両軍ともに躍動感あふれるパフォーマンスを披露。競技中も、それぞれの熱い思いを表現した看板を背に、声を振り絞っての応援が止むことなく続きました。



8/14 校歌の教えを胸に 成人としての旅立ち

成人としての門出をふるさとで祝う大江町成人式が、8月14日にふれあい会館で開催されました。今年は平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた82人が成人式を迎え、そのうち65人が出席しました。

式典では、渡邊町長が「先人たちが努力を重ねてきたおかげで、この町の今があります。皆さんには、これから生きていく人たちのために自分には何ができるかを考え、町を盛り上げてほしい」と新成人を祝福し、町からの記念品を贈呈。新成人からは記念品として町に図書が寄贈され、「20歳のつどい」実行委員長の菊地章人さん（藤田）が渡邊町長に目録を手渡しました。

成人者代表の小北匠さん（4区出身）は「これまで私たちを支えてくれた皆さんへの感謝、社会人としての自覚と責任を忘れず、母校である大江中学校の校歌にあるとおり『力を合わせ』で進んでいきます」と、力強く誓いの言葉を述べました。



▲記念品を贈呈し、渡邊町長と握手を交わす菊地章人さん



▲式典後、中央公民館で「20歳のつどい」が開かれました

8/1 老若男女がひとつの輪に

総合福祉施設らふらんす大江の夏まつりが、8月1日に開催されました。この日、施設前駐車場には焼きそばなどの模擬店が並び、会場はすっかりお祭りの雰囲気。提灯の明かりの下で、利用者とその家族のほか、蛍水区子ども会や地域住民の方などがひとつの輪になって、花笠音頭や盆踊りを踊り、年に一度の夏まつりを楽しみました。

また、この日は大江中学校の生徒たちがボランティアとして参加。イベント進行の補助や施設利用者の介助などをおこない、お祭りを盛り上げる大きな力となっていました。



町長 Column

今年の大江町の新成人は76名、成人式はふれあい会館で8月14日、素晴らしい式典であった。凛々しくて、和やか、他人の間違いを許す「大人の風格」を感じさせて、「永遠の真理を求め……進んで行こう 大江 大江 山形大江 大江中学」の校歌を忘れていない「成人諸姉兄」との再会の場となった。

式の挨拶で、「コンピュータから拾う情報は「嘘か本当か」を見極めて読み解くことが大切ではないのか——文字と音声だけで「たった一つの真実」だ、と判断してはいけない——と、老婆心を承知で語らせていただいた。

成人式が終わって職場に戻り、職員に「図書」の2文字の読み方に「ずしよ」があるかどうかと尋ねたら、「広辞苑」には「としよ」＝「ずしよ」と載っているとの「調査報告」であった。さらに自宅で「大漢和辞典」を調べてみても「としよ」＝「ずしよ」と読め、「図書一式」の読み方は、「ずしよいっしき」でも正しいと解した。我がぼんくら貧弱な勤が当たったとはいえず、今さらながら言葉は広くて大きくて、深く重いので、「常識を疑う一時の立ち止まり」を求めているのかもしれない。「図書」の読みは、「たった一つの真実」としよ」ではなかったし、「永遠の真理」でもなかった。成人式に参加された全ての方々に、心からお詫び申し上げ、訂正させていただきたい。「としよ」＝「ずしよ」どちらも正しかったと。「ずしよ一式」を式典で寄贈していただいた青年代表に、「さあ学ぼうよ、学んでゆこう」の大江中学校訓を改めて教えていただいた。当日の夜、青年のお宅にもお詫びのお電話をさしあげました。「時流が決める真実を信じてはいけない、今の真実は仮の形だ」——先生の声が天から届いた、素晴らしい一日となった。

大江町長 渡邊 兵吾

地域おこし協力隊通信 No.36



7月30日(日)に、寒河江市にて大江町の郷土の味、とりわけ山間地域の暮らしや手仕事を伝えるイベントを実施しました。大江町産の杉の木でつくられたお皿に、塩蔵山菜や干し野菜、地域の方が育てた野菜をつかったお料理をのせて、保存食や漬物などの手仕事の話や、それで暮らしを営む人々の物語などをお皿の上で表現しました。

「大江町の暮らしはどんな暮らし？」と聞かれたら、「長い冬に向けて、春夏秋はその準備で忙しいよ」と答えます。大変さだけでなく、その中で見出した楽しさや豊かさを感じるエピソードも添えて。冬の間食べるものの確保や雪囲い作業、薪の準備など、私は今できていないことも多いですが、暮らしをつくるという原点がここ大江町にはあるのではないかと思います。都会のご真ん中で「今、冬の準備で忙しいの！」と答える人はどのくらいいるでしょうか？とても極端な例えではありますが、自分で自分の暮らしをつくるということがとても贅沢な時代なのだと感じています。

地域おこし協力隊 野木 桃子



▲ゼンマイを干す地域のお母さん。守り残したい暮らしのワンシーンです

短歌

なつかしむ過ぎ去る夏の蝉の声心おきなくわが夢に入る

松田 馥

ドンヒューンパーンうわーきれいだ！地では恋する虫たち花添えむ

佐竹磨砂湖

池の鯉はねる音にて目を覚ます帰省の夜の十畳の間

山家 重之

打ち上がる大輪の花孫たちと夏の終りをともに眺むる

長岡かづ子

帰省客あらかた送りて夫も留守秋蒔種の足りるを確かむ

菊地つねよ

月しずかのぼりひとすじ諏訪の杉寂しく聞こゆ泉の声

佐竹 與鼓

朝なさな涼しき内の畑仕事あとはひねもすもぐらの如く

斎藤 徳治

俳句

夏草や雨音わたり豊かなり

松田 馥

ジャガイモや井戸で洗いて東京へ

阿部 一風

真夏日は一人一人き商店街

鴨田富士夫

尾瀬沼を姿見として雲の峰

今井 茂樹

帰省子を先祖見守る仏間かな

山家 重之

夏草や延長に入る甲子園

熊谷 勉

芋の露表面張力輝きし

舟山 三男

盆過ぎやがらんだうなる田舎街

伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



今年度から新任教諭として大江中学校に赴任し、1年生の担任と音楽の授業、吹奏楽部の顧問を担当している鈴木さん。小学生の時、左沢小学校マーチングバンドに参加したことが音楽の世界に入るきっかけとなり、大江中学校吹奏楽部に入部して打楽器の面白さに魅せられたそうです。その後も打楽器を続け、大学では音楽教育のコースを専攻し、音楽教諭への道に進みました。

「音色づくりが一番の魅力ですね。打楽器なので当然叩けば音は出るんですが、どういう音にするかを自分で考えながら演奏するのが面白いんです」

新任教諭として試行錯誤が続く中、生徒たちが日一日と成長していく様子を実感できることに幸せを感じるそうです。「私も生徒と一緒に成長していければと思います。音楽がこの先の人生の支えになるよう、生徒たちに音楽の奥深さを伝えていきたいですね」

みんなで奏でる最高のハーモニーを目指して、鈴木先生の挑戦は続きます。

鈴木 昇さん (22歳・9区)

生徒たちと最高のハーモニーを

シリーズ企画

月刊 仲間とエンジョイ! No.9

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

おおえ色彩魚拓愛好会 代表：小國洋一さん（諏訪原）

色とりどりの絵の具を使い、魚などを模写するのが「色彩魚拓」。おおえ色彩魚拓愛好会の皆さんは、みんなで作品作りを楽しむ勉強会を月に2回開いています。また、町の文化祭などのイベントでは、一般の方も作品作りを楽しめる体験コーナーを設けています。

色彩魚拓では、魚などの上に紙を置き、その上から絵の具を塗っていく「間接法」という技法を使います。魚だけでなく花や果物なども模写し、その仕上がりは水彩画のように彩り豊かです。

代表の小國洋一さんは「芋煮会なども開いて、楽しみながら活動しています。興味のある方はぜひ仲間に入ってほしいですね」と話していました。



▲おおえ色彩魚拓愛好会の皆さん



▲6月4日に開かれた「あじさい手作り工芸まつり」での体験コーナーの様子

お知らせ

Information

小型特殊自動車や農耕作業用自動車は申告が必要ですよ

フォークリフト、ショベルローダなどの小型特殊自動車や、トラクター、コンバイン、田植機など乗用装置のある農耕作業用自動車は、ナンバープレートの取り付けが必要です。申告をされていない方は手続きをおこない、ナンバープレートの交付を受けてください。

※工場内や田畑でしか使用しない車両、使用していない車両も、所有していれば課税の対象です。

※規格などの基準の詳細については、お問い合わせください。

☎ 税務町民課町民税係 ☎(62)2119

健康福祉課からのお知らせ

【9月は「健康増進普及月間」です】

生活習慣を振り返り、自分に合った健康づくりをおこないましょう。

例えば：①毎日10分の運動をプラス、②食卓に野菜のおかずを一皿プ

ラス、③禁煙をする

【9月24日～30日は結核予防週間です】
 「それって、いつもの風邪ですか？」

せきや微熱などの症状が2週間以上続くときは結核の心配がありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

また、乳児は1歳までにBCG予防接種を、65歳以上の方は年1回の結核検診を受けることになっています。まだ受診していない方は、医療機関などで検診を受けてください。

【10月は「がん検診推進強化月間」です】

県では強化月間に合わせ、「がん検診受診率向上キャンペーン」として子宮頸がんおよび乳がん検診の休日検診を実施します。

◆日時／10月15日(日)13時～

◆県内一斉検診日となります。

◆場所／山形県成人病検査センター

◆その他／事前申込が必要です(定員あり)。申込された方には、後日問診票を送付します

☎ 健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114

**広域連携通学用バス
 需要調査運行を開始します**

西村山地域1市4町と県が連携し、夜間の高校生の下校手段の確保を目

おおえの物産味覚まつり 出店者募集



大江の秋の味覚や物産が勢ぞろいする「おおえの物産味覚まつり」を、次のとおり開催予定ですので、出店者を募集します。

- ◆開催日／11月12日(日)9時半から
- ◆場所／中央公民館
- ◆内容／町産品の販売、各種イベント
- ◆締切／9月22日(金)まで
- ☎ おおえの物産味覚まつり事務局大江営農生活センター ☎(62)3217、または政策推進課起業推進係 ☎(62)2139

「創業セミナー」の 受講生を募集します！

創業する夢をお持ちの方を対象とした、創業のポイントを学ぶセミナーを開催します。全3回の集中講義となっております。無料で受講できますので、ぜひご参加ください。

◆日時／10月14日、21日、28日(土)13時15分～18時15分

◆場所／寒河江市技術交流プラザ

◆講師／(有)まる進 代表取締役・渡辺進也氏

◆内容／事業計画の作成やビジネスモデルの立案など

◆定員／10名

◆参加費／無料

◆調査運行期間／9月12日(火)～平成30年3月9日(金)

☎ 政策推進課政策推進係 ☎(62)2118

就業構造基本調査にご協力ください

総務省統計局(山形県・大江町)では、日本の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的として、10月1日現在で就業構造基本調査を実施します。

この調査は、国が実施する統計調査のうち、統計法により特に重要なものとされる「基幹統計調査」です。

調査結果は、雇用政策、経済政策などの企画・立案のための基礎資料として活用されます。

調査員が調査をお願いする世帯に伺いますので、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答をお願いします。

☎総務課情報システム係
☎(62)2187



大江町土地改良区職員募集

平成30年4月1日付け採用の職員を募集します。

- ◆募集職種・採用予定人員/事務職1名
 - ◆受験資格/○昭和63年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方で、高校卒業程度の学力を有している方(平成30年3月までに卒業見込の場合を含む)、○採用後に町内に居住できる方
 - ◆受験申込期間/10月16日(月)~11月8日(水)
 - ◆試験日程/一次試験11月26日(日)
 - ◆受験案内および申込書類請求/10月2日(月)から大江町土地改良区で交付
- ※試験内容などの詳細は、お問い合わせください。
☎大江町土地改良区 ☎(62)4664

◆申込締切/10月6日(金)

◆主催/フルーツライン左沢線活用協議会、寒河江市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町(共催 上記市町の各商工会)

☎寒河江市商工労働政策創業支援担当
☎(86)2111

総合運動公園スポーツ教室 期間限定エクササイズ体験

ピラティス・ヨガ・フラダンスの

3つのエクササイズが体験できます。

◆日程/○1期:9月5日、12日、

19日、26日、○2期:10月3日、17

日、24日、31日(すべて火曜日)

◆時間/10時半~11時半

◆料金/1期受講につき2千円

◆対象/中学生以上女性のみ20名

◆申込方法/総合運動公園受付にて所定の用紙に記入の上、受講料を添えてお申し込みください。銀行振込も可能です

◆申込期間/各期開催日前日まで(定員になった時点で締切)

※3つのエクササイズとも、運動のできる服装で受講ください。

☎(株)モンテディオ山形指定管理部
自主事業担当係
☎023(655)5900

「ひとり親家庭交流会」の開催について

◆日時/10月8日(日)

◆場所/リナワールド(上市市)

◆対象者/中学3年生までのお子さんがいるひとり親家庭の親子

◆参加費/○3歳未満・無料、○3

歳~中学3年生・千円(フリーパス

代・昼食付)、○父母・1500円

(回数券代・昼食代)

◆内容/○午前:研修・交流会(講演、支援制度の紹介など)、○午後

:親子で自由行動

◆申込方法/FAXまたはメール

◆締切/9月22日(金)

☎山形県母子寡婦福祉連合会
☎023(633)0962

特別養護老人ホーム大寿荘 職員募集

大寿荘では介護職員を募集しています。採用条件などの詳細は、お問い合わせください。

◆募集区分/介護職員(週40時間2名、週30時間2名)

◆採用条件/仔細面談(正規職員登用制度あり)

◆申込方法/履歴書を持参
☎特別養護老人ホーム大寿荘
☎(62)4328

編集後記

自分の目で見た方がよい——この1カ月のうちに、そんな言葉を何度も耳にしました。今や誰もが、いつでもどこでも、携帯端末で気軽に写真を撮れる時代。目の前の風景や出来事を、誰かに伝えたい、残しておきたいという気持ちはごく自然なものです。しかし人間の目は、最高級カメラもおよばないほどの優れたレンズ。仕事で写真を撮る身としては、景色人もファインダー越しにしか見られないのが残念ですが、その分なるべく多くの人の「目」の代わりになりたいものです。(伊藤智治)

思い出の No.23 まいぞうひん My蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲大泉さんの鳩舎で飼われている鳩たち。朝晩のエサやりなどの世話が日課であり、楽しみでもあるそうです
 ◀一番思い入れがあるという鳩を抱える大泉さん。県のレースで優勝した鳩の子を譲り受けたもので、大泉さんが飼っていた鳩の孫にあたります

私が自分の鳩をレースに参加させるようになったのは、昭和59年からのことです。鳩レースは、同一地点から一斉に鳩を放し、鳩舎まで帰ってくる速さを競うものです。かつて出場したレースでは、福岡で放した私の鳩が、時間はかかりましたがちゃんと自分の家に帰ってきました。

1,000km以上という長距離のレースで活躍する鳩は、若い時にレースで迷ってしまうなど、苦労している場合が多いですね。人間の成長と同じだなあ、と勉強させられました。

仕事で辛いことがあった時も、朝と晩にエサをやり、鳩たちを眺めていると心が癒されたものです。管理職になってからは、仕事が忙しくてなかなかレースに参加できませんでしたが、今は定年退職して時間もできたので、またレースに自分の鳩を出してみたいです。

(堂屋敷 大泉和歳)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

7月21日～8月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
小見	長岡 芽生	女	進・美佳
荻野	工藤 勇利	男	詠生・春菜
藤田	菅井 空	男	悠・実穂
月布	林 海利	男	純平・栞

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(寒河江市 12区)	柴崎 健志 庄司 茜

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
沢口	大沼 健藏	(91)
小見	伊藤 春美	(91)
9区	結城みさ子	(76)
7区	芳賀 政志	(79)
9区	佐藤フミエ	(91)
富沢	柏倉マサ子	(80)
梨木原	菊地 正佳	(61)
市の沢	清野 親吉	(80)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,471人(-17)
男	4,198人(-7)
女	4,273人(-10)
世帯数	2,946戸(-2)

平成29年9月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。